

透析センターのご紹介

当院透析センターでは外来維持透析のほか、多岐にわたる合併症発症後のリハビリテーションにも対応し、更にはADL低下などによる通院困難症例に対する長期療養入院も行っております。

日本における透析人口は約32万人を超え、勢いは弱まったとはいえまだ増加傾向にあり、透析導入患者の高齢化も進んでいる現在、当院の果たす役割は年々、増してきていると思われます。

微力ではございますが、地域医療に貢献するため、標準的な透析治療はもとより、安心、安全に透析して頂くようスタッフ一同心掛けていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



透析センター長 金井 秀明

血液浄化技術部のご紹介

当透析センターには、ベット数48床と病棟透析室3床の計51床があります。

透析センター長は泌尿器科医である金井先生が務め、その診療支援である血液浄化技術部は看護師10名、臨床工学技士11名、透析助手4名、事務1名で構成しています。

当センターの主な透析療法は血液透析療法（HD）ですが、その他にも血液透析濾過法（OHDF）、間歇血液透析濾過療法（IHDF）など病状にあった血液療法や、特殊な電解水透析（水素水）やアフレーシス療法・合併症予防のフットケア・運動療法なども取り入れています。

透析センターが発足したのは1996年8月です。腎機能が低下していた当時30歳だった患者さんから透析療法の要望が有り理事長が導入しました。当時、新規導入に至るまでは相当な苦労があったと想像します。しかし、今ではリハビリと透析療法などを主として地域社会に貢献できるまでになりました。これも地域の関連施設のご協力と共に、当院スタッフが患者様と信頼関係を築いてきた成果だと自負しております。

さて、私たちが考える透析医療の原点は、「患者様との信頼関係」です。「患者様が求める医療は安全・安心、そして納得のできる医療である」との立場から、患者様と同じ視点で医療が提供できるように努めております。

今後も「良質な医療の提供」をモットーとし、患者様のニーズに応え、望まれる病院、選ばれる病院を目指し、職員の方々とスクラムを組み、より連携の取れた医療チームを構築できるよう努力していきます。



血液浄化技術部スタッフ

基本理念

医療と福祉の総合的なサービスの提供を行うことにより、地域医療に貢献いたします。医療と福祉を融合することにより、地域の皆様の信頼を得、安心を提供していける地域に密着した病院運営を行います。

管理栄養課のご紹介

当院では、医師の指示に基づき患者様の病態に合わせて食事を提供しております。

「病院の食事は医療の一環として提供されるもの」という言葉を念頭に置き、食事の面から疾病の治療に向けてアプローチしていくよう努力しています。

当院で提供している食事の約半数が透析食になります。透析患者様における食事療法には以下のポイントがあります。

- 1) 適切なエネルギー摂取
- 2) 良質なタンパク質の摂取
- 3) 水分の制限
- 4) 塩分の制限
- 5) カリウムの制限
- 6) リンの制限



透析患者様用のメニュー!

エネルギー量、タンパク質量、水分量は血液検査や皮膚の状態、喫食率などから栄養状態を評価し、ハリス-ベネディクト法で算出しています。その他の栄養素は「慢性腎臓病に対する食事療法基準」に基づき、カリウムは2000mg/日以下、リンはタンパク質(g)×15mg/日以下、食塩6g未満を目標に献立を作成しています。

具体的な食事の工夫

カリウム…水に溶けやすい性質のため、野菜のゆで汁や煮汁の摂取は控える。

生果物を缶詰に置き換える。豆類、イモ類、乾物等は含有量が多いので注意する。

リン…加工食品の摂取を控える。適量のタンパク質を摂取する。

(タンパク質を多く含む食品にはリンも多く含まれるため)

透析患者様の食事管理は、エネルギー源や栄養素をうまく補給しながら、有害なものが溜まり過ぎないように、正しくコントロールすることが重要になってきます。

管理栄養課では、厳しい食事制限の中でも楽しみにして頂けるような食事を提供できるように心がけています。透析食に関してお悩みの患者様がおられましたら、いつでもご相談ください。



管理栄養課スタッフ

ひな祭りの時の食事です!



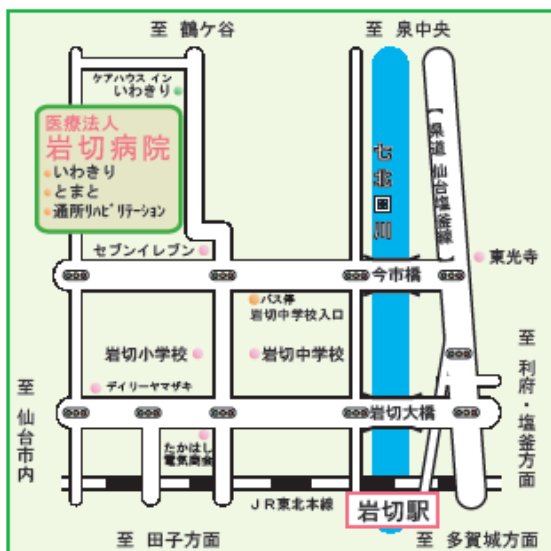
編集後記

JOIN NSジョイナスをご覧いただきありがとうございます。今号は、透析センター血液浄化技術部、管理栄養課をご紹介させていただきました。

寒さも和らぎ、暖かく過ごしやすい日が増えてきました。入学・就職など大きな節目となる季節でもあります。私自身、常にチャレンジ精神で問題、課題に取り組んでいきたいと思っています。

地域医療連携室

Access



関連施設

通所リハビリテーション デイケア

TEL : 022-255-5141 / FAX : 022-255-5539

透析センター

TEL : 022-255-5149 / FAX : 022-255-2231

ケアプランセンター いわきり

TEL : 022-255-5132 / FAX : 022-255-5611

訪問看護ステーション とまと

TEL : 022-255-3066

- JR仙台駅よりバスで約40分(岩切中学校入口下車)
- JR岩切駅よりバスで約10分(岩切中学校入口下車)
- バス停「岩切中学校入口」より徒歩5分



〒983-0821 宮城県仙台市宮城野区岩切字稲荷21

TEL : 022-255-5555 (代) mail : info@iwakiri-hp.jp

FAX : 022-255-5581